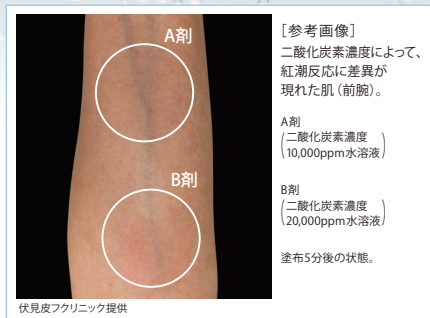




皮膚科では、炭酸が補完代替療法として、炭酸を使ったスキンケアが解決のヒントに！

— 先生のお話から、炭酸が補完代替療法として大変優れた物質だということが伺えます。伊東先生は、日々の診療において実際にどのように炭酸を活用されているのでしょうか？

伊東 例えば、私は高濃度の炭酸を利用したスキンケアをニキビの患者さんやアトピー性皮膚炎の患者様にお勧めしています。高濃度の炭酸によるパックを毎日5分程度行うことで、毛穴の詰まりが取れやすくなるためニキビの予防に効果的です。また、アトピー性皮膚炎などの湿疹や熱傷などの方は、肌の黒ずみ、すなわち炎症後色素沈着を気にされる方が多いのですが、前述の高濃度炭酸による皮膚のターンオーバー促進効果を利用して、色素沈着の改善を早めることが可能です。同様に、日焼け後の肌のメンテナンスにも有効です。ね、結果として、これらは患者様のQOL（Quality of Life）向上につながることを期待できます。



ホントは秘密にしておきたい炭酸のハナシ

株式会社 東洋炭酸研究所
第3回

皮膚科専門医に聞く、皮膚への炭酸効果

炭酸を利用した治療法は、長い歴史の中で、ヨーロッパだけでなく日本でも、その有用性が証明されている。今回は、炭酸を皮膚科の臨床に積極的に取り入れている、愛知県名古屋市中区にある「伏見皮膚クリニック」院長・伊東祥雄先生に、炭酸がもたらす治療効果について話を伺ってきた。

皮膚科では、古くから治療の一環として、炭酸は馴染み深い物質だった。

（聞き手・東洋炭酸研究所 石川峰生）

— 皮膚疾患における炭酸治療の第一人者として名高く、ドクター炭酸とも呼ばれる伊東先生ですが、そもそも先生は、なぜ炭酸に注目されたのでしょうか？

伊東 私が大分県立病院の勤務医だった際に、全身性強皮症という膠原病で通院されている患者様を担当しました。この病気は全身の皮膚に石灰の沈着やコラーゲンの異常な増加が見られ、結果として皮膚が厚く硬くなる疾患です。当然、手足の先の血行が悪くなるため、潰瘍ができてやすくかつ治りが悪いという状態が続きます。

この患者様も、血流を改善する様々な治療を試しましたが、なかなか改善が見られませんでした。

ところが、ある時、治療の一環として足浴を行う際に、炭酸入浴剤を入れてみました。する

— 日本は今、医療費や介護費の増大、それらに伴う現役世代の負担増が大きな問題となっています。炭酸が皮膚の疾患に有用であるとしたら、この医療費圧迫を解決させる一助になるのでしょうか？

伊東 臨床への応用を考えた場合「安価である」ことも重要なファクターです。炭酸は医薬品ではありませんので、低コストで続けやすいところが良い点の一つです。

私は皮膚科専門医として、褥瘡（そこずれ）の治療にあたることも多いですが、その際にも炭酸を使った患部の洗浄をおすすめしています。いわゆる難治性皮膚潰瘍の治療では、皮膚の血流改善が大切で、

褥瘡においては、感染対策も大切なため、連日石鹸と水道水を利用して患部を洗浄します。その際に高濃度炭酸のフォーム剤を石鹸の代わりに併用しますと、直後に明らかに患部の血流改善のサインが見られ、実際に治りにくかった潰瘍の治療が促進されたケースを何例も経験しました。

また介護に携わる方からは、高濃度炭酸による洗浄をすることで、患部からの臭いも減ると好評です。これは炭酸洗浄が、患部の感染コントロールの手助けとなっているためと考えています。

炭酸を使用した製剤に関しては、もちろん単体的には有効性は医薬品に及ばないですが、コスト的には安価で継続の負担が少なく、また入浴剤や化粧品、あるいはフォーム剤など様々な形態での使用が可能です。

近年2025年問題の一環として、医療費抑制の必要性も叫ばれています。先進国として難治疾患に対する最先端の治療・医薬品の投与は当然必要です。しかしながら、標準治療の投与わらで日常的に遭遇する疾患に対して、なるべく安価に効果を出せる医薬品外品の開発も、また急務であると思っています。炭酸はその可能性が十分に感じられます。

— 医薬品の継続使用については課題もあるという点ですね。では、炭酸に関してのデメリットは何でしょうか？

と、いつもの足浴の際にはみられなかった皮膚に血行改善のサインである紅潮反応が見られ、一時的ではあるものの足先の血行が改善しました。ご本人も、冷えかかってくる足の痛みが楽になったと大変喜ばれました。その後、足浴の際には炭酸入浴剤を併用することで、患者様への治療効果だけでなく、その満足度を高めることができたのです。

この時の経験から炭酸に興味を湧き、皮膚科診療への応用を考えるようになりました。

— なるほど。先生の実体験が、ドクター炭酸を生み出したのですか？

伊東 そうですね。膠原病の他にも、外用剤の効きにくい頭の慢性湿疹に、炭酸水を使用した洗髪を組み合わせたところ、改善が繋がったというケースもありました。こうした種々のエピソードを経験したことで、炭酸への興味は信頼に変わり、炭酸による治療や皮膚トラブルの予防を積極的に考えるようになりました。

皮膚の再生を高めるために大切なのは、炭酸を十分に取り込むこと。

— 炭酸治療の第一人者であって、先生は多くのエビデンスのある症例をご経験されていると思います。私も炭酸の肌への効果は実感していましたが、あらためて先生の臨

皮膚科専門医 伊東 祥雄医師
伏見皮膚クリニック院長
レディズビューティークリニック ヤマテ総院長
社団法人日本皮膚科学会 認定皮膚科専門医

【経歴】
2003年 4月 浜松医科大学 医学部医学科学卒業
2003年 5月 浜松医科大学医学部付属病院 皮膚科学教室入局
2004年 4月 国際医療福祉大学 熱海病院 皮膚科医員
2007年 4月 東京歯科大学市川総合病院 皮膚科医員
2008年 4月 同病院 皮膚科助教
2009年 7月 愛知県豊橋市 医療法人わたなべ皮膚科クリニック カルミアサテライト院長
2014年 4月 愛知県名古屋市中区に伏見皮膚クリニック 開院
2018年 4月 愛知県名古屋市中区にレディズビューティークリニック ヤマテ 開院



床データを覚えていただくと、難治性の皮膚疾患や重度の熱傷がみごとに色素沈着を残さずに改善されたことに、驚きを禁じえません。なぜ、炭酸はそこまで結果を出せるのでしょうか？

伊東 皮膚に対する炭酸の主な効果はシンプルに「血管拡張・血流改善」に尽きるといえます。炭酸が多量に細胞内にあると、皮膚としては酸素不足の状態になります。皮膚の酸欠状態を感じると血管の細胞が拡張し血流を増やすとともに、血管内へヘモグロビンからの酸素放出が増え、結果として組織の酸素濃度が高くなるため、これをボーア効果と言います。酸素濃度が高まった皮膚は、代謝が良くなり、皮膚の角層の入れ替わり、すなわちターンオーバーが正常化して、皮膚のトラブルに対する自然治癒力を高めます。

また、余分な角質層が除去されることで、くすみや小じわの改善、さらにはシミの原因となるメラニン色素の排出を促進することで美白効果も期待できるといいます。

このように、皮膚の再生や健康維持に大切なのは酸素を十分に取り込むことです。新鮮な血液が滞りなく循環することで、細胞にたっぷり栄養や酸素が届けられ健康で若々しい皮膚を維持していくことが可能となるのです。

会社概要
株式会社 東洋炭酸研究所
お問い合わせ先: 052-701-1180

